



うさぎだより

中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 東京都中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 東京都中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com 編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治

人間の尊厳を大切に作る心 未来を見据えた確かな目

田中大輔区長と共に、福祉のための改革



ます。この田中区政の歩みを決して止めることなく、前にすすめていかなければなりません。分権がすすむ中、住民福祉のために、自治体の政策立案や財政運営の力が厳しく問われる時代となっています。これからの世代にきちんと受け継げる区政をつくっていくために、みなさんとともにがんばります

社会にある障害を克服しよう



障害者福祉政策について田中区長との懇談会を開いた。田中区長から「障害は人にあるのではなく、社会にある」というのが私の考えだ。社会の障害を克服していくことが、行政にとって切実な課題だ。障害分野での行政の目的は、一つは生きていくことを守ること、二つ目は自由で活動し社会の中で自己実現をすることを守ることである。生きていくことに必要な支えを必要とだけ提供し、社会が守っていくことが重要だ。」という主旨の話があった。

様々な当事者の方々、作業所など

4年前、財政的にも政策的にもどんだ底の中野を救うために、田中大輔氏を区長として押し出し、必死に財政の建て直しと、子育てや福祉など区民サービスの拡充をはかってきました。また、「上野原スポーツ学習施設計画廃止」など箱物計画の見直し、区長交際費の全面公開など、箱物・バラマキ政治にストップをかけたきました。行政の透明化と区民参加の土台がつくられ、中野区は生まれ変わりつつあります。

障害者福祉にたずさわる方々から、障害者自立支援法に対する不安や、障害があっても自分の住んでいるところで生活している中野区であってほしい等、たくさんのご意見をいただくことができた。

佐藤ひろこのホームページに「中野の福祉ネット」のサイトをつくりました。障害者福祉情報がわかります。

第一回定例会予算総括質疑から格差社会をなくすために

格差社会が問題になっている。中野区ではどういふ状態にあるのか質問した。

健康保険料滞納は若い人に目立ってきている

佐藤 中野区において国民健康保険料の滞納はどのような傾向か。保険医療参事 滞納者は増加の傾向にあるが、必ずしも低所得世帯ではない。低所得世帯の収納率は90%と滞納は多くない。20代、30代の長期未納者がめだってきている。減免など制度について詳しく伝えるように改善する。

低所得者が増えている

佐藤 生活保護受給者は国全体で10年間で1.6倍に増えている。中野区でも10年間で1.8倍に増えている。そのうち高齢者世帯が約半分の約2千世帯を占めている。高齢化がすすむにつれて増えると思われている。生活保護受給者と同等またはそれ以下にある低所得者は増えているのか。税務課長 その割合は約9%と増える傾向にある。

区民の所得水準は23区平均より低い

佐藤 昨年2月に発表された経済協力開発機構のレポートでは、日本の貧困率は15.3%で、メキシコ、アメリカ等に次いで世界で5番目と高い。238万円以下の所得の貧困層は8年間で2倍近く増加したという。中野区民の所得水準の状況とその原因は。

税務課長 課税標準額200万円以下が55%と23区平均より多

い。一方2千万円を超える高層層は0.9%で23区平均より少ない。区民全体の所得水準が低い状況にある。23区平均では所得が伸びているが、中野区民は下がる傾向にある。課税額の少ない30歳代、60歳代が多いことが影響している

若者の失業率は高くなっている

佐藤 全国的に失業率が低くなる中で、若者の失業率は増えている。正社員の平均年収は531万円であるのに、フリーターは167万円と、生活保護受給者と同等かそれ以下の所得となっている。若者の間に格差が広がっている。区としてどのような改善策を行っているのか。産業振興課長 東京都全体としても改善に向かってはいるが、若者の失業率は平均よりかなり高い8.1%。区として求職活動を支援する就職相談会を開催したい。また、二つ問題検討会をつくる。

佐藤 どんな自立支援策も相手に届かなければ効を奏しない。格差社会の問題は、人と人とのつながりが崩壊はじめていることにもあるのではないかと。特に都市において人とのつながりをどう再生していくかが、大きな課題だ。

4年前の田中区長の政策集を区民グループで評価・点検しました。政策71項目中、68項目に着手していました。達成率は95.8%です。

24時間の 介護サービスを

佐藤 障害者自立支援法で福祉サービスが変わるが、必要な人には24時間の在宅介護サービスが支給できるようにするべきだ。保健福祉センター所長 できる限りの支援をしていく。

佐藤 サービスを利用しやすくするための方策の検討を。保健福祉センター所長 例えば就職時の一定期間、ガイドヘルプ

が使えるようにするなど、地域生活支援事業の充実を積極的にはかっている。

佐藤 障害者団体の方々が主催して、災害時対応の検討会をつくる。区も協力して実効性のあるマニュアルづくりを。防災課長 ぜひ、協力したい。

税金をきちんと使う 住民サービスを支える 基金の積み立て

佐藤 区民生活を支える備えと

なる財政調整基金の目的と積み立て目標額は？
財務課長 景気の変動などで財源が不足した場合や施設維持改修などを目的としている。今後拡充される児童手当や障害者の制度改正など必要なサービスを確保するための財源ともなる。財政規模の3分の1くらいが適切で、中野区では220億円位積み立てることが好ましいが、現在はやっと半分くらい積み立てたところである。

補助金交付の透明性

佐藤 補助金交付の考え方や基準をどのように規定しているのか。わかりやすく公表すべきだ。政策企画課長 補助金等交付規則にさだめているが、わかりやすい形で示せるように工夫していきたい。

佐藤 公益性や事業の有効性などをチェックする第三者機関の設置をどう考えているのか。政策企画課長 新年度予算に区民公益活動推進協議会の設置を盛り込んでいる。

「新しい公共」を 「広げよう」

「官」を変える

佐藤 「官」は官僚的」と使われているように、「非効率」「権威主義」「形式主義」「閉鎖的」であることなどに対する代名詞としても使われてきた。「官から民へ」「民の「自由さ」や「柔軟性」などを導入し、行政を変えていくこと

も目指していると思う。区長は「官」をどう変えたのか。田中区長 役所の都合で物事を決めていくようなやり方をやめさせようと、区民の参加の手続きを定めた自治基本条例の制定、区民対話集会など行ってきた。

「民間」の評価を
佐藤 CSRという企業の社会的責任」がクローズアップされているが、民間に公共サービスをまかせる時には、この社会的責任を果たしている事業者かどうかについても評価する必要がある。

「中野区区民公益活動の 推進に関する条例」 やっと 成立

佐藤ひろこの賛成討論から

佐藤 10カ年計画にある総合公共サービスセンターは地域団体や民間が行なう公共サービスもそこで行えるということだが、たとえば、民間の障害者の作業所なども対象になるのか。計画課長 高齢者や子育て支援など、行政と地域の団体、民間事業者などが連携した、総合的な地域ケアの拠点になる。

「これからは、住民の力を活かすことができる自治体が、地域の豊かさを生み出せるといわれている。そのためには、住民の力を活かす仕組みをきちんと定めておくことが必要だ。ようやく中野区においても、豊かな地域社会を実現することを目的に、区民の公益活動の推進を図るための条例が提案された。東京23区では、3番目となる。中野区の条例の特徴は、団体をまるごと支援するのではなく、その公益的な活動に着目し、その公益性を評価して、活動の推進をはかるための約束事を、条例として定めたことにある。また、理念だけでなく、区の役割として、具体的な区民公益活動への支援策と、透明性・公平性を担保する評価の仕組みを定めている。…」

佐藤ひろこの活動日誌から

- 1月
- 4 中野区新年賀詞交換会
- 5 災害時の障害者への対応などについて担当課と意見交換
- 8 ケアセンターやわらぎ見学
- 9 成人のつどい
- 13 消費者団体連絡会新年会・来年度予算内示
- 17 みずのとう幼稚園の保護者の方々と懇談
- 18 四つ葉会(4区立幼稚園保護者の会)の方々と懇談
総務委員会
- 21 障害者自立支援法について区と意見交換
朗読劇「ひまわり」DVDをのりこえて「鑑賞
市民自治政策研究会」来年度予算について」
総務委員会
- 25 補正・復活予算内示
- 30 東中野首都高速道路建設現場など特別委員会を視察
区民参加で中野を変える会総会
- 2月
- 3 日本NPOセンターへ
非核平和を進める中野区民の会新年会
- 4 虹と緑政策研究会・婦人民主クラブ中野北支部例会
- 5 さくら館もちつき大会
障害者自立支援法について区と意見交換
総務委員会
- 6 (財)文化スポーツ振興公社評議委員会
- 8 岡山NPOセンター評価のため調査活動
姫路市長と懇談
- 13 区民参加の中野をすすめる会
- 15 「幼児教育と保育について」学習会開催
本会議(区長所信表明)
- 17 本会議
- 21-23 本会議
- 23 朝・日友好親善中野・杉並新春のつどい
できることからの会
- 24-28 予算特別委員会
- 3月
- 1-3 予算特別委員会(佐藤ひろこ総括質疑)
- 5 NPOねこの手総会・区民参加の中野をすすめる会
- 6-8 予算特別委員会総務分科会・補正予算内示
ボランティア学会「路上から地域へ」
中野区役所おもてなし運動発表会
- 10 予算特別委員会・憲法9条を守る会議演説
- 12 障害者自立支援法について区と意見交換
- 14 厚生労働省課長とホームレス問題について意見交換
15-17 総務委員会
- 18 田中ナースリー保育園卒園・修了式
婦人民主クラブ60周年記念大会
- 19 嫁菜の花美術館へ
- 20 逗子市議選応援
- 21 障害者自立支援法について区と意見交換
- 22 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 23 谷戸小学校卒業式
- 24 本会議
- 25 あすなる保育園卒園式
「NPOの組織評価」を評価学会で発表
- 26 ハンディキャブの会総会
- 30 できることからの会
- 4月
- 1 市民自治政策研究会「これからの中野」田中大輔区長

傍聴してね!
次の議会は
6月28日(水)7月13日(木)
陳情受け切は6月29日(木)

